

令和5年

10月号

No.648

今月
の
ご法話

安心を
与える

法音

日蓮宗
法音寺



勇猛精進

堪忍 かんにん

全てのことに「はい」と言おう

堪忍できる

全てのことに感謝しよう

堪忍できる

全てのことを喜ぼう

堪忍できる

続ければ仏になれる

月刊・法音 令和5年10月号 No.648 目次

【信仰の指針】無畏施 むいせ 人に安らぎを施しましょう 1

【朝のこない夜はない】

安心を与える

山首 鈴木正修 2

◆ 講日のご案内

◆ 有縁の支院・布教所に、ご自由にご参詣ください

◆ 全山一斉清掃奉仕の日のご案内

◆ 仏教漫画『日蓮さま』・18小松原の法難

◆ 小松原の法難

◆ お寺の本棚

◆ 常寂光土への誘い (15)

◆ やさしい仏教

◆ のりのね体験

◆ 支院だより

◆ 福祉セミナーのご案内

◆ 福祉セミナーのご案内

◆ 福祉のひろば

◆ 幸せのお手伝い

○ 昭徳会・新プロジェクトのご案内

○ 日本福祉大学・里親養育に関わる人材養成にチャレンジしていきます

◆ 賛助員ご芳名

◆ 幸せの種まき／編集後記

◆ 連載まんが・ひまわり・129 あこがれの転校生

◆ 法音寺の社会福祉・教育事業

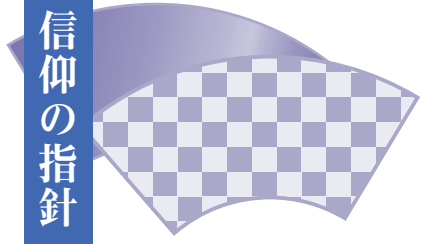
表紙題字 山首上人さま書

表紙写真・彼岸花

掲載写真 表紙・信仰の指針 3～17頁…梅田雅臣氏撮影

2頁…加納将人氏撮影

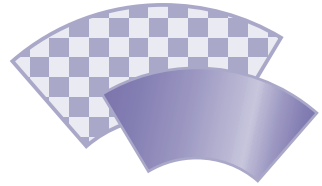
信仰の指針



む
ろ
せ

無畏施

人に安らぎを



施しましろう

日教五



ハギの花



朝のこない夜はない

山首 鈴木正修

安心を与える

最近、松山大耕さんという臨済宗妙心寺派の若手の僧侶の方を知りました。この方は京都の妙心寺の塔頭・退蔵院の副住職をされています。日経ビジネス誌の「次代を創る100人」に選ばれ、2011年には禅宗を代表してローマ教皇に謁見されています。そんな松山さんですが、退蔵院の長男として生まれたのに小さい頃から将来は絶対にお坊さんにはならないぞ々々と思っていたそうです。それが、あることがきっかけでお坊さんの世界に興味を持ち始めました。それはある和尚さんとの出会いです。

松山さんは東京大学大学院1年生の時に長野県の飯山



という豪雪地帯の農家に、半年間住み込みで研究生活を
していました。その時に、この辺りにも妙心寺派のお
寺がないかなと思っ探してみたところ、たった一軒
「正受庵」というお寺がありました。そこに原井寛道と
いう和尚さんがいました。日本のお寺というのは檀家さ
んがあって、お葬式や法事でお布施や、拝観料をいただ
くというのが一般的ですが、正受庵には檀家さんが一軒
もありませんでした。観光寺でもありません。寛道和尚
は托鉢だけで生計を立てていたのです。今から20年前
のことです。松山さんはこの平成の時代に凄い人がい
るなと驚くとともに寛道和尚に惹かれていきました。

この話で私が思い出したのが『食えなんなら食うな』
という本です。関大徹という曹洞宗の禅僧が書かれまし



た。本の帯に「待望の復刊。俺はこの本が死ぬほど好きなんだ」と執行草舟さんという実業家のコメントがあります。私はこのコメントに惹かれて読みました。

本の題名になった話です。大徹和尚が福井県の吉峰寺というお寺にいた時のことです。若い修行僧が、悩みがあると相談にやってきました。

「自分が継ぐ寺は兼職をしないと食べていけない貧乏寺であるが、兼職に対しては疑問があります」

大徹和尚は即座に「兼職などという、いやらしい誘惑に負けるな」と言いました。その修行僧は「でも兼職をしないと食べていけない寺なんです」と言葉を返しました。

大徹和尚は言います。

「それでいいではないか。食えなければ食わねばよろし



い。高祖道元禪師以来、お寺に入ったら食える保障など、どこにもあったためしはない。お寺で食えるというのが間違っているのであって、お寺は食う処ではない。もったいないことに、自分の修行に夢中になっているために、お百姓さんのように一粒の米も生産することができないから、乞食に出て『すみません』と言って、一握りの米をただで頂戴して、生きながらえさせてもらっている。自分は僧侶として好きなことをやっているのだから、一握りの米も戴けなくなったら誰を恨むでもない。その時は心静かに飢え死にすればいい。高祖以来、みんなその覚悟でこられたからこそ、今日の禪門があり、禅僧と云われる人は、その祖風を慕って仏門に入ったはずである。『食えなんなら食うな』とは、わが禅の古徳達が口を酸っぱくして、言ってこられたことだ。これは決して、や



せ我慢でもなんでもない。食えなんだから飢えるのであり、
飢えれば、死ぬまでである。実に軽がると、生きていけ
る」

吉峰寺は曹洞宗発祥の根本道場と言われる古刹でした
が、正受庵と同じく無檀のお寺でした。大徹和尚の言葉
です。

「吉峰寺は檀家がないから、お布施による実入りが全
ない。住職の私以下、一山の衆徒は、托鉢によって、何
とかその日その日の糊口を凌いでいる。台所は火の車で
ある。普通の家庭人の感覚でいえばそういうことになる。
赤字家計もくそも、定収入がないから、ゼロ家計に等し
い。誰もそれを苦にしない。米櫃に一粒の米もなくなっ
たらどうしようという恐怖感もない。それは、食えなん



だら食わぬぐまでだからであり、一山は餓死覚悟の集団だからである」

しかし、そんな吉峰寺にも不思議にお金のあることがあったそうです。そういう時に寄付を頼まれたりすると、有金全部を残らず寄付したそうです。ある時、僧侶仲間から、吉峰寺のような無檀の貧乏寺にそう奮発されると、後の寺が困るぐと暗に言われたそうです。これに対して、大徹和尚は「わしは世間阿呆だから仕方がない」と笑いとばしています。実に痛快な和尚さんです。

話をもどしますが、正受庵には檀家さんはいませんでしたが、信者さんや寛道和尚のファンがたくさんいたそうです。松山さんは大学院を出て、お寺に帰って修行生活に入りました。修行生活の合間に、また寛道和尚に



会あってみたいいぐと正受庵しょうじゅあんを訪わとずれました。その時とき、寛道かんどう和尚おしょうを慕したっているおばあさんが亡なくなって、遺族いぞくの方かたが来きました。そして「遺言ゆいごんなんです。寛道かんどう和尚おしょうにお葬式そうしきをや
ってほしいんです。お願いねがします」と言いいました。遺族いぞく
が帰かえった後あと、なんと寛道かんどう和尚おしょうが松山まつやまさんに「葬式そうしきのお経きやう
を全部ぜんぶ忘わすれた。悪いわるいけど代わりかりにやってきてくれ」と言い
うのです。寛道かんどう和尚おしょうが本当ほんとうに忘わすれたかどうかはわかりま
せん。おそらく寛道かんどう和尚おしょうは最初さいしょから葬式そうしきをするつもりが
なかったのではないでしようか。大徹和尚だいてつおしょうと同じおなように、
渡世とせをする気きが全まったくなかったように感じかんじます。
寛道かんどう和尚おしょうは町中まちぢゆうの人達ひとたちからとても慕したわれていました。
寛道かんどう和尚おしょうのことを町まちの詩人しじんが詩うたに書かきました。

寛道かんどう和尚おしょうさんが雨あめの日ひも嵐あらしの日ひも



炎天下の日も雪の日も

毎日托鉢をされている

その托鉢をされる声がこの町に響くと

この町に安心が広がる

この詩を知った時に松山さんは、お坊さんの一番の仕事は葬式でも法事でもない。人々に安心を与えることだな〱と思ったそうです。

〱こういうお坊さんにならなければ、少しでも近づかなければ〱と思い、それから松山さんは修行に身が入ったという事です。この時、寛道和尚は40代半ばでしたが、すでに駅前には寛道和尚の托鉢する銅像が立っていました。いかに人々から慕われ、敬われていたかがわかります。



正受庵は、正受老人という方が創建したお寺です。正受老人というのは通称で、道鏡慧端という禅僧です。高い悟りを持ちながらもずっと山奥で過ごしました。水戸光圀公からの二度にわたる招請をも辞退して、ひたすら禅に精進しました。慧端禅師は生涯にわたって世俗的な栄達に目を向けることなく、死に至るまで僧階は最下位のままで、正受庵も寺格を有さない状態のままでした。

この人に「一日暮らし」という文章があります。

「人生の中で一番大事なことは、今日ただ今の自分の心なのだ。明日やればいいと言っても、その明日があるかどうかはわからない。人生は長いから、そのうちやればいいと思っていると、毎日をほどほどに過ごしてしまう。人の命は儚いものだからこそ、今日の一日を精一杯努め、励むべきだ。今日一日をしっかりと努め、明日もまたそ



のようない日いちが来るようにしなければならぬ。先さきのこ
とを考かんがえてみるのは誰だれでもやっていることだが、今いまここ
にあるこの時ときをどう生いきるか、どう暮くらすかということ
を考かんがえている人ひとは少すくない」

杉山先生すぎやませいせい以来いらいの「今日きょう一日いちにち」の教おしえを思おもい起おこします。

正受老人しょうじゆろうじんには有ゆう名めいな弟でし子しさんがいます。臨濟宗中興りんざいしゅうちゅうこう
の祖そ、白隠はくいん禅師ぜんじです。白隠はくいん禅師ぜんじは若わかい頃ころ、うつ病びょうを患わずっ
ていましたが、それを呼こき吸ゆう法ほうによよつて克こく服ふくした方かたです。

白隠はくいん禅師ぜんじは、生家せいが代々だいたいの日蓮宗にちれんしゅうの家いえでああつた信しん心じん深ふか
い母親ははの影えい響きやうで、幼少ようしやうから法華経ほけきやうに親したしんでいました。

出家しゆつげを志なしたのも、法華経ほけきやうの功徳くどくの大おほきいことを聞きいた
ためだつたさうです。長ながく住職じゆうしやくを務つとめた松蔭寺しょういんじには、自じ
筆ひつでびっしり註釈ちゆしやくが加くえられた法華経ほけきやうが伝つたわつています。



白隠禪師はくいんぜんじの代表的著作だいはうてきちよさくに『夜船閑話やせんかんわ』があります。これは丹田呼吸法たんてんこきゅうほうを説いたものとです。

精神的せいしんてきに病やんだり、疲れ切つかってしまきうと、誰だれしも眠ねむれなくなるものとです。しかし、意識いしきして深ふかい呼吸こきゅうをすと、副交感神経ふくこうかんしんけいが刺激しげきされて徐々じよじよに眠ねむれるようになります。白隠禪師はくいんぜんじは毎晩まいばん寝ねる前まえに腹式呼吸ふくしきこきゅうで深ふかい呼吸こきゅうをました。その実践じっせんにより快眠かいみんし、うつ病びょうを克服こくふくしたのとです。

人間にんげんは怒おこると呼吸こきゅうが浅あさくなります。あせつたり緊張きんちやうしたりする時ときも同おなじです。そういとう時ときこそできるだけ、深ふかく長ながい呼吸こきゅうをすとるといいのです。

105歳さいまで生いきられた聖路加国際病院せいるかこくさいびやういんの日野原重明ひのはらしげあき先生せんせいは、「どうしたら先生せんせいのように健康けんこうで長生ながいきできますか？」と質問しつもんされた時ときに、「まず怒おこらないこととです。



しかし人間誰しも頭にくることがあるものです。そんな時は、深く息を吸ってそれを吐き切ると良いです。歩くのも特効薬になります。どちらも交感神経の興奮を抑える効果があるのです」と言われています。

日野原先生は普段から「長息は長生きにつながる」と、オペラのアリアを歌うような呼吸法を取り入れておられました。近年、深い呼吸法は身心を整え、ストレスから回復させる作用のあることが科学的に検証されています。最近では若い方々の間でマインドフルネスとして知られており、グーグルやメタ（旧フェイスブック）といった大企業で社員教育に取り入れられています。

以前、東京に渡部昇一先生の講演を聞きに行った時、講演が終わってから一緒に行った人と会場近くのお寿司



屋さんに入りました。少しして私の隣に座った人がいました。それが渡部先生でした。「今日はありがとうございますございました」と挨拶をし、その時に、たまたま渡部先生が書かれた頼山陽の『日本楽府』の解説の本を読んでいたので、その話をしました。それから話はずんで、健康法の話になり、「呼吸法はどうですか？」と私が聞きましたら、「呼吸法はとても大事ですよ」と言われたのです。それから白隠禅師の話になり、私が次の話をしました。白隠禅師は弟子に常々「危急の時には大きく息を吸って、尻の穴を閉める」と言っていました。その弟子の一人が乗っていた船が難破し、みんな海に投げ出されてしまいました。溺れた人達が海岸に打ち上げられて並べられました。役人が来て尻の穴が開いているかどうかを検分し、尻の穴の閉じている禅師の弟子を見て、



死んでいないからと、人工呼吸が施され生き返ったという話です。

渡部先生は「昔から『河童のけつ抜き』という言い伝えがあるんですよ」と言われました。昔の人は肛門には尻子玉という蓋のようなものがあって、河童にこれを抜かれると人間は溺れ死んでしまうと考えたそうです。実際に溺死した遺体のお尻は肛門括約筋が弛緩して、お尻の穴が卵くらいの大きさになって直腸が外に出ているそうです。それで昔の人は河童が、尻子玉をとったと思っただようです。

少々話がそれましたが、法華経、三徳を信仰する私達
の一番の役割はやはり、寛道和尚のように人々に真の安
心を与えることではないかと思えます。



良い教えの話を聞きましょう。

全国の法音寺各支院・布教所では
毎月の講日の中で

三徳の教えを聞くことができます。

是非講日にご参詣いただき

教えを心にしみ込ませましょう。

◆今月の山首上人さまご親修日程

福山支院	10月1日(日)	豊川支院	10月4日(水)
三原支院	10月8日(日)	安芸津支院	10月15日(日)
岐阜支院	10月24日(火)		

有縁の支院・布教所に、ご自由にご参詣ください

支院・布教所名	今月の講話日など	住所	電話番号
大乗山泰明寺	5日・20日	名古屋市中村区名駅2-37-3	☎(052)581-2069
開基堂	10日	江南市寄木町天道18	☎(0587)53-5436
東京支院	1日・15日・28日	東京都練馬区谷原2-6-37	☎(03)3904-1251
静岡支院	2日・12日・21日	磐田市城之崎4-7-3	☎(0538)32-6625
豊川支院	4日・20日	豊川市中野川町1-26-3	☎(0533)86-4704
安城支院	8日・18日・28日	安城市新田町小山31-25	☎(0566)76-2504
明川支院	11日・28日	豊田市明川町堂ノ脇1-2	☎(0567)32-1825
佐屋支院	4日・15日・24日	愛西市大井町浦田面296	☎(0586)72-7208
一宮支院	5日・15日・25日	一宮市大江1-7-4	☎(0586)22-5813
西春支院	2日・12日・20日	北名古屋九之坪東ノ川20	☎(0568)245-2939
岐阜支院	4日・14日・18日・24日	岐阜市切通7-15-22	☎(058)388-2740
笠松布教所	12日	岐阜県羽島郡笠松町八幡町23	☎(0584)78-4854
大垣支院	1日・8日・21日	大垣市宝和町5	☎(0575)22-0776
関支院	3日・8日・21日	関市西福野町2-15-11	☎(0575)23-3771
平賀支院	1日・15日・25日	関市市平賀2-13-2	☎(0575)65-3933
郡上八幡支院	8日・29日	郡上市八幡町小野7-2-1-3	☎(059)352-3633
四日市支院	3日・13日・22日	四日市市赤堀2-4-7	☎(0595)21-0127
上野支院	1日・11日・23日	伊賀市上野向島町3-4-7-5	☎(0595)21-0127

☎ご連絡は本山寺務局へ

京都支院	1日・9日・20日	京都市上京区北横町360	☎(075)231-3437
高槻支院	1日・15日	高槻市天神町1-9-2	☎(072)685-1003
大阪支院	8日・23日	大阪市此花区西九条3-4-41	☎(06)6465-5051
和泉支院	1日・22日	大阪府泉南郡田尻町嘉祥寺404	☎(072)466-3112
神戸支院	14日・21日	神戸市兵庫区五宮19-17	☎(078)360-4884
淡路支院	5日・25日	南あわじ市神代国衙910	☎(0799)421-0175
岡山支院	1日・6日・22日	岡山市南区若葉町1-16	☎(086)262-0818
高知布教所	8日	高知市上町5-5-39	☎(088)823-1983
福山支院	1日・15日	福山市西町3-19-5	☎(084)921-3078
三原支院	8日・22日	三原市皆実2-9-22	☎(0848)621-5087
安芸津支院	1日・8日・15日	東広島市安芸津町三津3765-3	☎(0846)451-4012
坂支院	1日	広島県安芸郡坂町坂東2-24-12	☎(082)885-1064
福岡支院	1日・12日・15日	福岡市早良区城西2-11-37	☎(092)821-7975
壱岐布教所	13日・23日	壱岐市石田町池田東触1-1-2	☎(0920)441-5445
筑後布教所	8日・22日	筑後市大字西牟田5954-1	☎(0942)531-7273
天草布教所	2日	上天草市大矢野町維和1502-1	☎(0964)581-0742
田川支院	8日・22日	田川市春日町7-30	☎(0947)421-1819
名古屋地区	7日・17日・22日・27日	名古屋市昭和区駒方町3-3	☎(052)831-7135
瀬戸布教所	9日・19日・28日	瀬戸市東本町2-20	☎(0561)851-6860
亀岡布教所	9日・22日	亀岡市篠町篠牧田73-1	☎(0771)251-7807

※スケジュールは変更されることがあります。詳しくは各支院・布教所にお問い合わせください。(掲載順不同)

山 齊 掃 全 一 清



2023年
10月8日(日)



法音寺のご縁を通じて日本全国をきれいに美しく
仲間と掃除を通して心も体も
リフレッシュしませんか？

- ◆ 詳しくは支院青少年育成担当までおたずねください
- ◆ 皆さまお誘い合わせの上、ご参加をお待ちしております

主催：法音寺青少年育成委員会

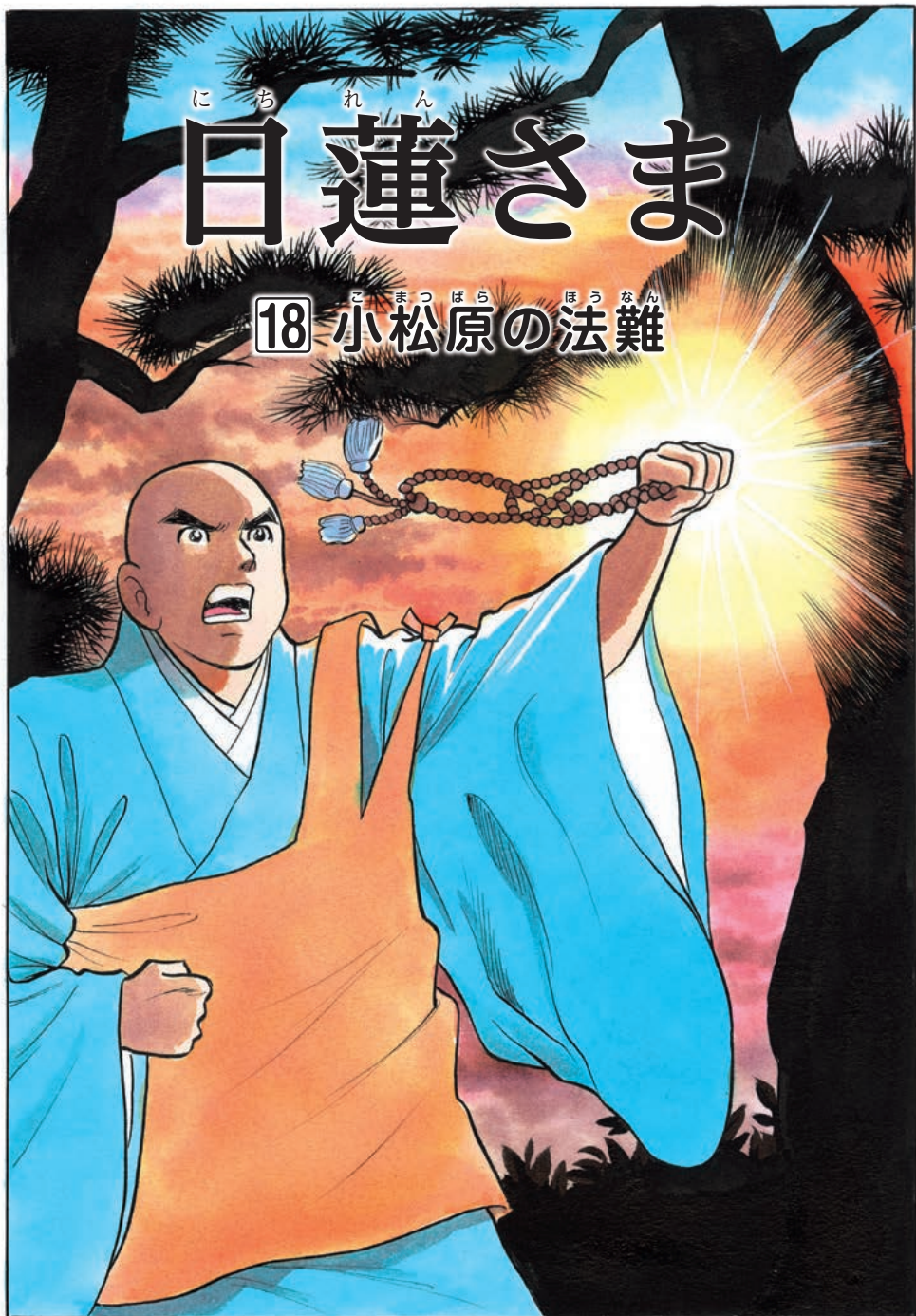
<https://www.houonji.com/>

育成facebookQRコード
当日の風景を随時配信！



にちれん
日蓮さま

18 小松原こまつばらの法難ほうなん



日蓮聖人が安房国で
危篤のお母上を生き返らせた
という噂が広まり
法華經に帰依する人々が
日々増えていきました



中でも熱心な天津の城主
工藤左近尉吉隆からの
依頼をうけ日蓮聖人は
天津の館へ赴かれました

東条景信の館

お館さま
急ぎお耳に
入れたいことが



なに、
日蓮？

者共に今すぐ
支度させる

はは！

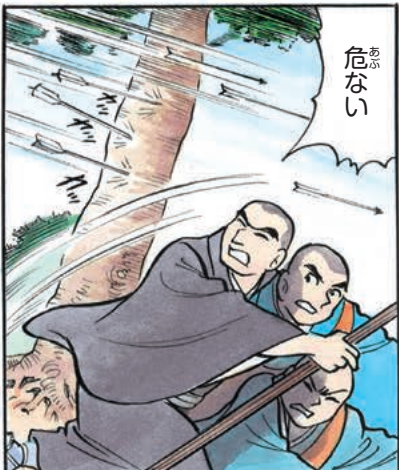
お師匠さまのお母上が
お元気になるれて
お師匠さまのご法話を
聞きたいという方が
増えましたね

これからお訪ねする
工藤殿のように
法華經に帰依する人が
少しでも増えるのは
ありがたいことだ





工藤殿の館に着くまでお題目を唱えながら進むとしよう

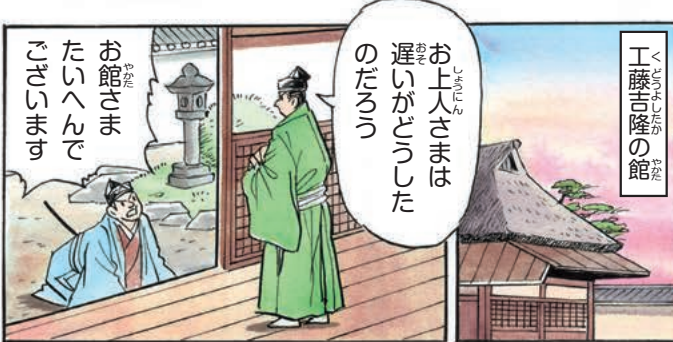
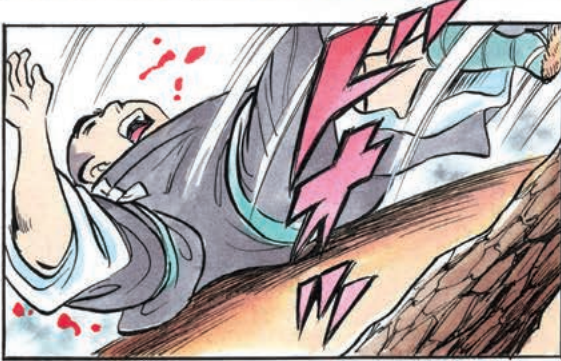


我等の主は 東条景信





者共
かかれ



お上人さまは
遅いがどうした
のだらう

工藤吉隆の館

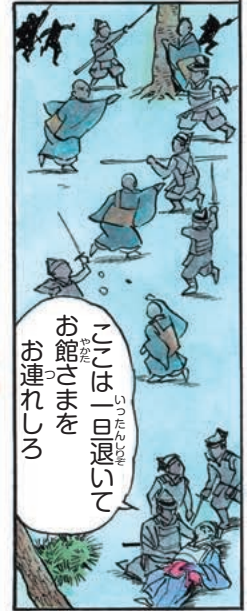
お館さま
たいへんで
ございます



うう
お師匠さまを
頼みますぞ







小松原の法難

文永元年（1264）11月11日、日蓮聖人は工藤吉隆からの招待を受け、弟子達を連れて蓮華寺を出発します。午後5時頃夕闇の中、一行は小松原にさしかかりました。その時念仏を批判されたことで激しく敵対心を抱いていた東条景信とその雑兵が突然現れ、日蓮聖人一行に襲いかかってきました。

「射る矢は降る雨の如し、打つ太刀はいなづまの如し」（南條兵衛七郎殿御書）

一行は日蓮聖人を庇い、鏡忍房は松の木を引き抜いて応戦するも、たちまち切り伏せられ、弟子達も深手を負います。駆けつけた工藤吉隆も奮戦するも多勢に無勢、無念の討ち死にをします。東条景信は馬を馳せながら日蓮聖人に肉迫し、太刀を振るいます。日蓮聖人は額を切られた上、左手を折られる重傷を負います。言い伝えによると、景信が太刀を振り上げた途端、日蓮聖人の脇の榎の木から鬼子母神が現れ、驚いた東条景信が落馬したといえます。

法華経勸持品第十三には「法華経を弘める者には難がふりかかる」と説かれています。日蓮聖人は、難に遭つのは、法華経を正しく実践しているから」とこの事件を通して確信されたのでした。





お寺の本棚



『大白牛車(九)』

悟りに変え、幸せに変えていく








〃家に病人がいる〃とか 〃子どもで困っている〃という方は本当の幸せを得られないのか、と思われるかもしれませんが、それは間違った考

え方であります。どんなことがあるうとも、それを契機として悟りに変え、幸せに変えていくのが行(ぎょう)であり、信仰であります。

日本福祉大学で以前、「車イスの少女」の入学を許可いたしました。当時、日本の大学では初めてのことでした。

それ以前に日本の大学は、車イスの利用者だけでなく、障がいのある人は成績がいくら良くてもほとんど受け入れなかったのです。差別と思われるかもしれませんが、それにはそれだけの理由もあります。施設面を考えても、試験の方法にしても、問題はいっぱいあるわけです。しかしその時、日本福祉大学は〃これだけの施設しかないけれども、それでもよかったら受験してください〃と受け入れたのであります。それまでも障がいのある学生を受け入れてはおりましたが、「車イスの人」は日本では初めてということでは新聞・テレビなどで報道されましたのでご存知の方も多いと思いますが、実際問題、本人





の努力は大変なことだと思えます。在学中の四年間、実家が姫路ですから家を離れ、見知らぬ地での母娘二人の下宿生活は大変です。

そういう、車イスに頼らなければならぬ、いわば「不治」と申しましょうか、そしてまた、母親が付き添わなければ生活できないという、言ってみれば「気の毒な人だ」と傍目からはそう思えるでしょう。しかし、その母娘とお話をして、つくづく感心いたしました。と申しますのは、お母さんはお母さんでイキイキとしておられ、当人もまた非常に朗らか、そして勉強する意欲も充分なのです。さらにお母さんは「仕方がないから娘の付き添いをする」というのではなく「それをするのが楽しみ」という風情なのです。

不幸を幸せに変えて、と言いましょか。そんな大げさに言わなくても、喜んで生きるということに、自分達がどこかでふんぎりをつけておられるのです。はたから見れば苦しみと思える中にも、喜びの心を持ち続けておられるのです。

人間は、自分一人だけ幸せになるということはあり得ないと思います。ですから、まわりの人を幸せにしていくことが、何より先決であります。そうしたことがなければ、自分の本当の幸せはないというのが法華経の精神であります。

この本をもっと詳しく読んでみたい方は、法音寺本山、または各支院・布教所までお問い合わせください。

常寂光土への誘い (15)

無量義經 説法品第二

若し聞くことある者は、或は煖法・頂法・世第一法・須陀洹果・斯陀含果・阿那含果・阿羅漢果・辟支仏道を得、菩提心を発し、第一地・第二地・第三地に登り、第十地に至りき。

「教えの説き方もいろいろあり、聞く方の機根もそれぞれ異なりますから、ひと通り浅く理解してわかったと思う人もあれば、もう少し深入りしてわかったと思う人もあり得ます。そこがそれぞれ異なるのでありますが、如来はいつも同じ心持ちでお説きになっていらっしゃいます。浅い教えをお説きになりましても、それだけで止めようというお考えはありません。その教えを手がかりとして『もつと高い教えがわかるように』と思って説いていらっしゃるのです。すべての人々を『仏と同じ境界にまで引き上げよう』という大慈悲を以って説いていらっしゃるのです。聞く方は、そのことを本当に理解することは容易ではありません。機根の勝れた人は上の方へ上の方へと求めていきますが、わかっていない人もいますです」。

このことについて、修行を積んで心境が高まっていく順序「煖法・頂法・世第一法」ということが述べられています。実はこれは一つ略されています。三番目に「忍法」という境地があり、合わせて「四加行」と言っています。

「煖法」は炭火に手を暖めて暖かさを感じるように、何だか仏さまのみ教えは良さそうだな、と思う程度

のことです。

「頂法」 高い山の頂上に立ったような心持ちで、仏さまのみ教えはなるほど世間的の教えである倫理道徳よりは上であるな、と思つた程度であります。

「忍法」 続くという意味があり、仏教は一番良い教えだと考えて、続けて進んでいく覚悟を決めた程度です。

「世第一法」 仏教は世の中のあらゆる教えの中で一番上位と理解し、熱心に学ぶようになる程度を言います。

「須陀洹・斯陀含・阿那含・阿羅漢」とは「声聞の四果」と言われていることでもあります。

「辟支仏道」は「縁覚」を言ったもので、日頃出会う事柄に思い合わせてその深い意味を覚る境界を言いますが、そこからさらに進むと、「菩提心を発す」となります。菩提心とは、「阿耨多羅三藐三菩提心」の略で、無上の覚りを求めて仏道を行じようという心です。

「第一地・第二地・第三地に登り、第十地に至りき」とありますのは、仏さまのみ教えを実行していく段階を言います。菩提心を起こして『仏の境界』に至るにも、十段あるということです。地に足が着くということを言いますが、修行が落ち着いて自分のものになったところを「地」と言うのであります。それを五十二に分けた説明であります。十信、十住、十行、十回向、十地の五十に、等覺とうがく、妙覺みょうがくを加え、五十二位と言っています。

「十信」 信ずるといふ状態が、十段階あるのです。浅い信じ方から深い信心へ向かうわけです。

「十住」 信ずる心が動かない状態です。

「十行」 〓 信ずることが行いに現れる、その状態です。

「十回向」 〓 自分が学び得たことを人に譲り与える段階です。自分が学び、実行し得たことを人に伝えるのは大切であります。

「十地」 〓 世を益し、人を益することが間違いないことができるようになった段階を言います。その段階も十に分けられています。

「地」は地面のように落着いていて間違いない所です。その十地を過ぎれば、仏に近い境界となります。その状態を「等覚」と言います。仏さまと余り違わない状態に等しいということです。

いよいよ仏と成れば「妙覚」です。妙とは、一番上という意味であります。この妙覚を十に区分して「十地」があります。それは次の十であります。

一、歡喜地 〓 自分が修行することと、人にみ教えを説くことの両方に対して、真に喜びを感じることに。

二、離垢地 〓 煩惱を離れ切った処ということ。

三、發光地 〓 自分の努力によって周囲を明るくすることができるということ。

四、焰慧地 〓 焰のような熱烈たる智慧があるという意味。

五、極難勝地 〓 真・俗二諦が一つになった境界。真は仏さまのみ教え。俗は世間の生活のこと。仏さまのみ教えを学んだ結果、自分のものとなるとともに、世間の生活の上において都合の良い、適切な行いができることであります。

六、現前地 〓 一切の人が次第に進んで、仏に成った様子が目の前にはっきりわかること。

七、遠行地 〓 小乗の教えを遠く離れ尽くしたことに。

八、不動地ふどうち 〓 今の状態でいきさえすれば、仏に成れるという確信ができて動かないこと。

九、善慧地ぜんね 〓 善は完全無欠のこと。完全な智慧を具えた処ということ。

十、法雲地ほううん 〓 雲が空一ぱいに広がるように、その人の力が人間社会全体に広がって、一切の人を救う結果をもたらすようになることであります。

往むかし日と説ときたもう所の諸しよ法ぼうの義ぎと今いま説ときたもう所とと、何なん等らの異ことなることあれば、而しかも甚じん深じん無む上じやう

大だい乘じやう無む量りやう義ぎ經きやうのみ菩ぼ薩ざつ修しゆ行ぎやうせば必かなず疾とく無む上じやう菩ぼ提だいを成じやうずることを得えんと言のたまう、是この事じ云い何かん。

唯ただ願ねがわくは世せ尊そん、一さい切ぎを慈じ哀あいして広ひろく衆しゆ生じやうの為ために而しかも之これを分ぶん別べつし、普ふく現げん在ざい及および未み来らい世せに

法ほうを聞きくことあらん者ものをして、余よの疑ぎ網まうなからしめたまえ。

「如来は昔から今日迄教えを説いていらつしやったのですが、以前説かれたことと、今説かれたこととの間にどういふ違いがあるのでしょうか。お言葉に現れたところだけで言えば、同じようなことを説いていらつしやるように思われますが、今改めて『甚深無上大乗無量義經のみ菩薩修行せば必ず疾く無上菩提を成ずることを得ん』とおっしゃいました。また、今後新しく何か別なことをおっしゃるようにも思われま

す。どうもこの前後の関係が充分わかりません。このことを如何に理解したらよろしいのでしょうか。世尊にお願い申し上げます。多くの人々のためにもこれを説明していただきたいものです。私どもはわかっ

ても、み教えを聞かない人達はわからないでしょう。どんな人が伝え聞いても疑いのないように、み教えをお説きになる目的を明らかに説いていただきたいのですが…」と、大莊嚴菩薩はお願いしたのであります。

やさしい仏教

永代経供養とは

永代経とは、永代読経ということで、ご供養された施主が亡くなられても、お寺が故人をご供養し続けることをいいます。

法音寺での法要

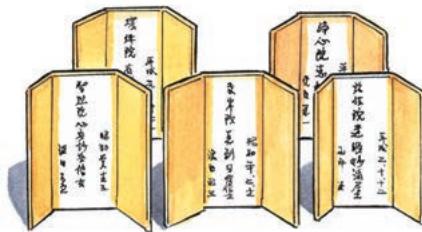
・年回忌法要（一周忌・三回忌・七回忌・十三・十七・二十三・二十七・三十三・三十七・四十三・四十七・五十回忌）

・春と秋の彼岸法要

・盂蘭盆会・施餓鬼法要

にごご回向いたします。

法要のご案内は、葉書にてご連絡いたします。



守護神守

永代経守護神とは

亡くなられた方を、ご供養すると、ご供養を受けた霊位は、ご供養に感謝され、施主を守護する働きをするので「守護神」といいます。守護神守には、山首上人さまが授けられた法名が記されています。永代経を申し込まれた方には、この守護神守が授与されます

縁ある人もご供養しましょう

ご先祖を救うご供養の中でも永代経は特別な追善供養で、その功德は甚大です。昔から家族も木に譬えています。根はご先祖、幹は当主、枝葉は我々子孫です。根がしっかりしていれば、幹も枝葉も育ち、家も繁栄します。

亡くなられたご両親・祖父母などのご先祖や、また生前仲の良かったお友達やお付き合いのあった知人にも永代経供養をしてあげましょう。

永代経供養は、未来を変える方法

我々は、ご先祖の命や因縁を受け継いで、この世に生まれました。善い因縁もあれば、悪い因縁もあります。先祖代々、同じことを繰り返して困ることもよくあります。この悪い因縁を変えるため、ご先祖を救い、より善い未来を築きましょう。



社会福祉法人 昭徳会 福祉セミナー

『アートでつなぐ心の架け橋』

～障がい福祉への偏見、社会の常識を変える～

開催日時 2023年

10/14[±]

13:30～15:30 (受付 13:00～)

定員
200名
参加無料

開催場所

法音寺

名古屋市昭和区駒方町3-3

アクセス

公共交通機関をご利用の方

地下鉄錦舞線川名駅3番出口より徒歩5分、
いりなかつ駅2番出口より徒歩7分
名古屋市営バス「山中」停留所より徒歩3分

車をご利用の方

駐車場は台数に限りがありますので、
できるだけ公共交通機関をご利用ください。

講演

異彩を、放て。

～福祉を起点につくる新たな文化～

講師

松田 文登 氏

株式会社ヘラルポニー 代表取締役副社長



代表取締役副社長。ゼネコン会社で被災地の再建に従事、その後、双子の松田崇弥と共にヘラルポニーを設立。4歳上の兄・翔太が小学校時代に記していた謎の言葉「ヘラルポニー」を社名に、福祉領域のアップデートに挑む。ヘラルポニーの営業を統括。岩手在住。双子の兄。世界を変える30歳未満の30人「Forbes 30 UNDER 30 JAPAN」受賞。2022年、「インパクトスタートアップ協会」(Impact Startup Association)の理事を務める。著書『異彩を、放て。』が福祉×アートで世界を変える。』。

株式会社ヘラルポニー
ホームページへ



Youtubeにて当日ライブ配信決定



社会福祉法人昭徳会 福祉セミナー

『アートでつなぐ心の架け橋』
～障がい福祉への偏見、社会の常識を変える～

講演

異彩を、放て。

～福祉を起点につくる新たな文化～

講師

松田 文登 氏
株式会社ヘラルポニー 代表取締役副社長

令和5年10月14日(土) 13:30～

視聴期限：講演後1週間



↑
こちらから
視聴できます

お問い合わせ先

社会福祉法人 昭徳会 法人本部事務局 福祉セミナー実行委員会
tel : 052-831-5171 mail : seminar@syoutokukai.or.jp

主催：社会福祉法人 昭徳会

ひろば

福祉の



SINCE 1912
SHOTOKUKAI



幸せのお手伝い

介護を通じてさまざまなことを
教えてくれる先輩達へ

歩き続けるようになりたい

昭徳会に入職して10年が経ちました。現在、私はケアハウス高浜安立という、要支援から要介護の介護認定を受けられたさまざまな利用者の方が生活される施設で、特定施設（介護サービス付ケアハウス）の介護員として働いています。私が施設で働き始めたころに出会った、特定施設入居者のAさんは口癖のように常々「歩けんくなったら自分で好きな所に行けなくなる。だから私は死ぬまで歩き続けたいんだ」と言われていました。そのころのAさんはシルバーカーを使いスタスタと

歩かれており、施設で行われている取り組みや行事にとっても意欲的に参加されていました。

しかし、普段から歩き続けたいと言われ、歩くことを意識されていたAさんも後期高齢者であり、時が経つにつれて徐々に歩くことが億劫になってこられたのでしょうか。今まではAさんの居室へ声を掛けに行くと「よし！行こう。今日はなんだろうな」と元気良く言われていたのが、最近では「今日は体がえらいでやめとくわ」と言われ、断られることが増えるようになってきました。Aさんの年齢を考えれば致し方ないことかもしれませんが、以前のAさんの行動や言葉を覚えてい

る私にとっては寂しく感じる出来事でした。

Aさんの居室へ声を掛けに行き、施設での取り組みに参加することを断られても、車椅子で介助をすれば誘導自体はむずかしいことではありませんが。ただ、それではAさんが今まで言われていた、「死ぬまで歩き続けたい」という希望が、ないがしろになってしまっているのではないかと思い、私はAさんを誘導する際に以前に仰っていたことをお話ししました。すると、Aさんは頷きながら「そうだったなあ。私はそんなこと言っとったなあ」と自分から動くこととされ、施設での取り組みに参加されました。

私はこの経験を通じて入居者の方々と話すときは、さまざまな声の掛け方をするように心掛けています。人は生い立ちや環境がみんな違い、同じ人などいないのだ、とあらためて気づかされた瞬間

間でした。

これはほんの一例に過ぎません。入居者の方々は、私に沢山の気づきを与えてくれる先輩達なのです。 ケアハウス高浜安立 介護員 小山 清司



新プロジェクトのご案内



写真提供・昭徳会

障がい者支援施設 小原寮
～とりあえずやってみよう!～

小原寮では現在、地域共生社会実現の一步として農福連携に励んでいます。小原寮は豊田市の山間部にあり、広大な自然の中に位置しています。その土地柄を生かし、さらにパワーアップさせるべく、農福連携プロジェクトを発足させました。

利用者さんはもともと施設内の畑で野菜作りをされていましたが、今年度から施設周辺の休耕田を活用した取り組みを進めています。

地域の方にも親身に相談に乗っていただき、先日、施設周辺の休耕田をお借りすることができました。お米作りという夢の実現に向けて、一步一步着実に前進しています。限られた空間の中で、利用者さんが充実した時間を過ごすことができるよう事業を進めております。

その他にも、小原寮では農福連携に付随して間伐材活用プロジェクトも始動しました。

こちらは地域の問題でもある間伐材に焦点を当



て、間伐材を活用し、利用者さんのやりがいの創出、そして、みんなのしあわせ（幸福）をめざすものです。この度、私が間伐材プロジェクトの委員長を務めることになりました。初めての大きなプロジェクトは不安いっぱい。どうやって進めていいかもよくわかりませんでした。色々な方からお話をうかがうことで少しずつ形になってきています。先日は施設の外へ出て、木の駅プロジェクトの薪割りにも参加させていただきました。丸太を集め、モリ券をお渡しする仕組みがあり、このモリ券は、旭地区で使用可能な商品券です。商品券を利用し、地域の商品を購入することで、地域の活性化につながります。加えて、薪を回収することで地域の方々とふれあうきっかけにもなります。さらに小原寮では、利用者さんもお交えながら進めていくことで、障がいへの理解も深まるのではないかと思われ、私はこのような仕組みづくりを目標にしたい



と考えています。

月に一度の委員会では、メンバーから思いがけないアイデアが出てくる場合があります。さまざまな意見を取り入れつつ、小原寮が地域に貢献できるような道を開いていきます。

中でもダブルTさんには大変お世話になっています。（ダブルTさんとはパート職員のTさんと起業家のTさんです）そもそも「間伐材とは何か」から教えていただきました。この場を借りてお礼申し上げます。ありがとうございました。

今後の課題は継続的な間伐材の供給です。継続的に間伐材を回収するにはどうすればいいか、プロジェクトのメンバーと検討していきたいと思えます。さらに、メンバーが変更されても続くような簡単な仕組みづくりも合わせて検討していきたいです。

利用者さんはもちろん、職員、地域の方々の生活がさらに充実するように小原寮は職員一丸となって試行錯誤しながらも頑張っています。これからの活動にも乞うご期待ください。

障がい者支援施設 小原寮 事務員 鈴木 志歩

里親養育に関わる人材養成にチャレンジしていきます

～日本福祉大学～



写真提供・日本福祉大学

今、「里親」に注目が集まっています。

2016年に改正された児童福祉法により、子どもの「家庭養育優先原則」が明確化され、都道府県の行うべき里親に関する業務が具体的に位置づけられました。また、2017年8月には、厚生労働省のもとで「新しい社会的養育ビジョン」が取りまとめられ、子どもの発達ニーズの観点からの里親委託率向上と、より質の高い里親養育の実現が求められています。

里親の養育支援（フォスタリング）を行う団体は、里親探し、その方に対する研修、子どもと里親家庭のマッチング、里親委託中における里親養育支援、子どもの自立支援の業務等、さまざまな取り組みを通じて里親や子どもへの支援を行います。そのため、業務を担う職員の十分な専門性と支援を遂行するための資質・能力等の向上を図り、社会的養護の充実に向けた里親等への包括的な支援を提供できる体制

を構築することが重要となります。

この度本学は、こども家庭庁の補助事業「令和5年度里親養育包括支援機関人材育成事業」に採択されました。このことに基づき、里親支援の人材養成における研修業務を担うほか、里親養育包括支援機関の担い手の掘りおこし、育成及び確保を目的としたフォーラム（東京・大阪）を開催していきます。

本学が今年度開講するプログラムでは、本分野で活躍している講師陣を招いたオンデマンド講義や、受講生同士が新たな気づきを得られる対面演習を全国6カ所で開催する予定です。里親養育包括支援業務に関係する児童相談所職員及び自治体職員、NPO法人等の民間フォースタリング機関職員、乳児院・児童養護施設等職員、里親会等里親支援を行っている方（予定を含む）、養子縁組民間あつせん機関職員等養子縁組業務にかかわる方

のほか、里親支援に関心のある方であればごなたでも学ぶことができます。ご興味あれば、ぜひウェブページをご覧くださいと思います。

※本学は、上記研修事業に関連した「令和5年度こども・子育て支援推進調査研究事業（こども家庭庁）」による「里親支援業務に関する普及啓発から効果的な人材育成に関する調査研究」にも採択されています。

リカレント教育事業部（企画事業室） 清水 淳

〈研修プログラム概要〉

申込期間：2023年9月1日～2024年1月31日

※「対面演習」希望者は申込先着順、且つ会場によって締切日が異なります。

研修内容：オンデマンド講義（全7講）
＋対面演習（全国6カ所）

※札幌、仙台、東京、名古屋、大阪、福岡

受講料：無料

対象者：都道府県等の各自治体、民間のフォースタリング機関、児童養護施設等にお勤めの方、里親会等の関係者、本分野に関心をお持ちの方

主催：日本福祉大学リカレント教育事業部



幸せの種まき

今日一日は

思いやりの心で

親切を施しましょう

今日という日は一生に一回しかありません

その大切な一日ですから笑顔で過ごしましょう

大乗山 法音寺

編集後記

先日、本山では慈泉院殿温和妙真大姉（鈴木真喜子刀自）の一周忌法要が行われました。法音寺全山に衝撃が走ったあの突然のお別れから一年が経ちました。すべての人に細やかなお心遣いをされたお庫裡さまは、自然体で和顔悦色施を実行される、法音寺三徳を具えられた方で、あのお姿を見習っていかねければ」と改めて思いました。私達はそれぞれ仏さまから使命を与えられて生きている」とお寺では教わります。御開山上人は「仏さまの子として菩薩の働きを重ね、今世で成仏することが人として生まれたことの実りである」と説かれました。

私達に与えられた命の長さは人知の及ぶところではありません。人生は長く続くような気がしても、いつ幕を閉じるかはわかりません。だからこそ、「今日一日を大切に」と教えられるのです。

今月号では各地の盂蘭盆会の様子が報告されましたが、お上人方のご法話は一貫してそのことを私達に伝えているように思いました。

私達はいつ人生が終わっても後悔のないよう、今日一日を納得して終えられる精進を心掛けたいものです。

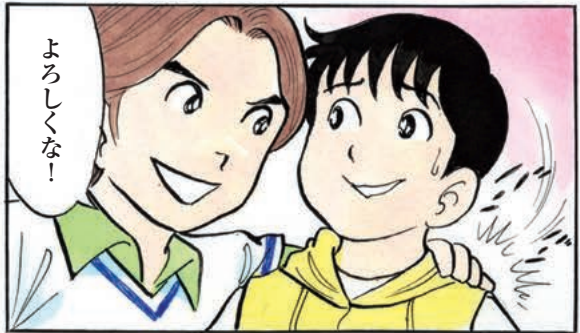
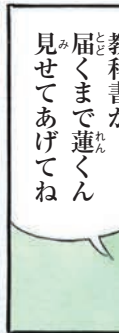
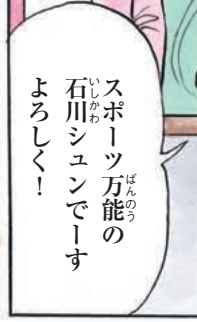


てんこうせい あこがれの転校生

竹中 淳













ものおしせずだれにでも
言いたいことをはつきり
言える石川くんって
うらやましいな
あこがれちゃう



石川くん今日
転校してきたのに
クラスのみんなど
あんなに
溶け込んでるよ

そうね



それで今日
新しい委員長を
決めたいと思います

今までわたしが
クラスの委員長を
やってきましたが
来月から新しい
委員長に
変わります



あ そうだ
新しい委員長を
ホームルームで
決めなきゃね



タケル
やれよ

いやだ



では委員長に
立候補したい人は
いますか？

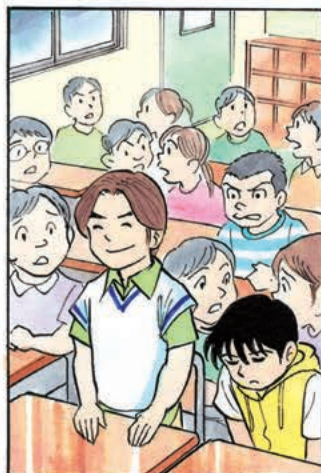


先生…



なんでだれも
立候補
しないの？

やることいっぱい
あるからだれも
やりたがらない
のよ





タケルとボクは委員長をフォローすることにしました



結局話し合いの結果委員長は石川くん

おしまい

法音寺物語

社会福祉という言葉がなかった時代…
人々を本当の幸せにする仏教の精神で
社会的弱者を救済する人達がありました。



貧困にあえぐ人達に食料や医療を施し、
差別を受けたハンセン病を患った人々に
寄り添い、様々な事情で親をなくした
子ども達を養育し、障がいを持つ人々に
生きる希望を与えてきました。



お寺になったのは戦後(昭和22年)のこと。
初代住職・鈴木修学上人は、福祉施設を
運営する中で、本当に人々を救済するには
“専門的知識を身につけた人材が必要”と考え、
日本初となる社会福祉教育専門の4年制大学・
日本福祉大学を開設しました。



その後、“仏さまの教えを実行し、困っている人達を
救済しよう”という理念に共鳴する人達が各地に
増え、全国に40の支院・布教所が設置されました。
多くの心ある人達の善意に支えられて、現在では、
高齢・障がい・児童の19福祉施設が運営され、
大学では多くの学生が社会福祉を学んでいます。





勇猛精進

相手を満足させればすぐ喜びがくる
相手をいたわれれば喜び合う日が必ずくる

写真・法音寺大本堂
《山首上人の大荒行御成満奉告法要の砌》

日蓮宗大乘山 法音寺

〒466-0832 名古屋市昭和区駒方町3-3 TEL.052-831-7135
https://www.houonji.com FAX.052-831-9801



講話日

毎月7日・17日・27日
午後1時30分

ホームページにて月刊法音を掲載しています

SNSでつながる法音寺

法音寺公式
facebookで

毎朝7時

『一日一言』
配信中!!

こちらの
QRコードから
ご覧いただけます。



毎週火曜日
法音寺メールマガジン
配信中!!

山首上人のみ教えや毎月の予定、
人にやさしく生きていくための
コツなどを配信します。

こちらのQRコードから
メールマガジン登録フォームを
ご覧いただけます。



YouTubeにて
法音寺チャンネル
開設中!!

[https://www.youtube.com/
user/houonjimovie](https://www.youtube.com/user/houonjimovie)

こちらのQRコードから
法音寺紹介動画を
ご覧いただけます。



詳しくはホームページ、またはYouTubeサイトで

法音寺

検索

法音寺の社会福祉・教育事業

徳を昭(あき)らかにし、徳を以って世間を照らす

社会福祉法人 昭徳会

- 児童養護施設
- 障がい児入所施設
- 障がい者支援施設
- 特別養護老人ホーム
- 障がい福祉サービス事業
- 養護老人ホーム
- 軽費老人ホーム
- 保育所
- 軽費老人ホーム(特定施設入居者生活介護事業)
- 自立援助ホーム

法人本部

〒466-0832 愛知県名古屋市長和区駒方町4-10
TEL (052) 831-5171
<https://www.syoutokukai.or.jp>



我が如く等しくして異なること無からしめんと欲す

学校法人 日本福祉大学

- 日本福祉大学大学院
- 日本福祉大学
- 日本福祉大学中央福祉専門学校
- 日本福祉大学付属高等学校

法人本部

〒470-3295
愛知県知多郡美浜町奥田会下前35-6
TEL (0569) 87-2211
<https://www.n-fukushi.ac.jp>

